

登録コード	TJJ10000	開講年度	2026			
授業科目	情報サイエンスゼミナール				担当教員	西新 幹彦 他
英文授業名	First-Year Seminar in Computer Science and Mathematical Informatics				副担当	北 直樹・LEE SOOBOM
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生
講義室	共通教育 5 2 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Tカリ					
	【26T～】 共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	信州大学や専門分野の基礎知識が説明できるようになる。
	【26T～】 専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				⇔	インターネットで情報の検索・収集ができるようになる。技術的関係のレポートの構成が作成できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業は週ごとにテーマを設定して、講義やグループワークの形式で学習をします。大学生活に必要な知識について学ぶとともに、情報サイエンスコースの基礎も学びます。グループワークでは、テーマについてグループで議論してからレポートにまとめます。なるべく多くの同級生と接する機会を与えるためにグループを毎回変更します。					
(5)授業計画	第1回：PCの基本操作とチューター制度 第2回：教育プログラムの紹介 第3回：インターネット社会とメディアリテラシー 第4回：図書館ガイダンス 第5回：こころの健康，グローバルコア人材育成コース 第6回：情報セキュリティガイダンス 第7回：Window PC操作 1 第8回：Window PC操作 2 第9回：信州大学について 第10回：大学生が巻き込まれやすい犯罪について 第11回：アカデミックライティング 1 第12回：アカデミックライティング 2 第13回：情報サイエンスコースの研究紹介 第14回：大学院進学と研究について 第15回：情報技術のレポート提出					
(6)成績評価の方法	毎回提出するレポートで評価します。 各レポートは10点満点で評価し、その合計を100点満点に換算します。					
(7)成績評価の基準	レポートの評価基準は次の通りです。 ・内容が理解しているか ・自分の言葉で書いてあるか ・分かりやすく書かれているか 尚、全てのレポートを提出しなければなりません。 90点以上は秀 80点以上は優 70点以上は良 60点以上は可 60点未満は不可					
(8)事前事後学習の内容	事前に授業内容を把握しておくこと。 授業後に内容を振り返って、インターネット等で調べて理解を深めること。授業内容と自分で調べたことを合わせてレポートにまとめること。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	※講義室は「共通教育 1 3 講義室」をメインにします。 eALPSに授業ページを作成します。 授業の教材やレポートの提出はeALPSを利用しますので、eALPSやメールの使用方法を早めに修得しておくこと。 生成AIを利用したレポート作成は禁止です。					
(10)質問、相談への対応	質問はメールで対応します。各教員のメールアドレスは学科のホームページで公開していますので、直接該当教員にメールで質問して問題ありません。 また、授業のときに教員に直接質問してもいいです。					
(11)その他	主な授業は「共通教育 1 3 番講義室」にて行います。 例外の場合は前回の授業やeALPS上で事前告知します。					
【教科書】	指定しない					

【参考書】	指定しない
-------	-------